

黒色腫

1	オプジーボ+ヤーボイ
2	ヤーボイ

化学療法計画書

2025年7月改訂

治療法名		オブジーボ/ヤーボイ			
コース数		コース目			
腫瘍種		悪性黒色腫 肝細胞癌			
患者名				♂	年齢
患者ID		生年月日			
部署		主治医		科	Dr
開始予定日					
治療内容		Day	1 8 15 22		
		予定日	1/0		
ヤーボイ		3 mg/kg	↓		↓
オブジーボ		80 mg/body	↓		↓
治療開始日		治療間隔		3週毎	予定コース数
					4回で終了
身長	150	cm	体重	50	kg
eGFR	27	mL/min	eGFR/BSA	24	mL/min
		BSA		1.43 m ²	

投与開始基準
・自己免疫疾患の合併または既往歴のある患者は慎重に投与
延期基準
・G2の有害事象
肺臓炎：ステロイド投与
下痢・大腸炎：ステロイド投与
肝障害：ステロイド投与
甲状腺機能低下症：甲状腺ホルモンの治療
甲状腺機能亢進症：非選択的β遮断薬など対処療法
神経障害：ステロイド投与
腎障害：ステロイド投与
副腎機能障害：ステロイド投与
下垂体機能障害：ステロイド投与
I型糖尿病：インスリン補充療法考慮
膵炎：ステロイド投与
横紋筋融解症・筋炎：ステロイド考慮
重症筋無力症：抗コリンエステラーゼ検討
ステロイド投与
脳炎・髄膜炎：ステロイド考慮
心筋炎：ステロイド考慮

皮膚障害はG3で休薬
原則専門医に相談
G1に改善した場合は1か月以上かけてステロイド漸減
日和見感染に注意

day1	
インラインフィルターを通す	
1) 生理食塩液	50mL 血管確保
↓	
2) 生理食塩液	50mL
オブジーボ	80mg 30分
↓	
3) 生理食塩液	50mL 30分
↓ (観察)	
↓ (ヤーボイ 5mg/mL)	
4) 生理食塩液	100mL
ヤーボイ	150mg 30分
↓ ヤーボイの液量分+10mLを生食から	
↓ 抜き、ヤーボイ分を生食に追加	
↓ 総液量は90mL	
5) 生理食塩液	50mL フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意

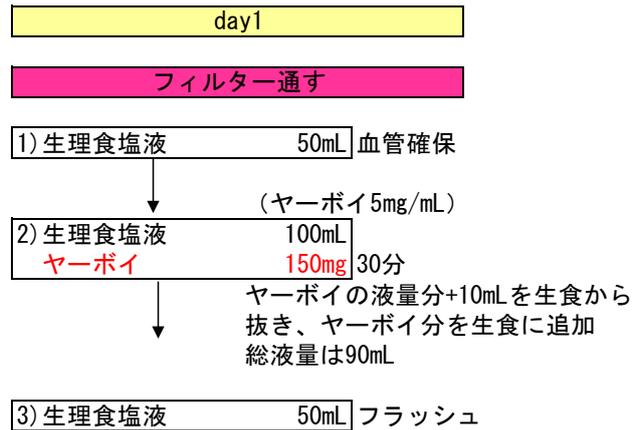
Infusion reaction
(軽度～中等度)
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

化学療法計画書

治療法名		ヤーボイ			
コース数		コース目			
腫瘍種		悪性黒色腫			
患者名		性別		年齢	
患者ID		生年月日			
部署		主治医		科 Dr	
開始予定日					
治療内容		Day		1 8 15 22	
予定日		1/0			
ヤーボイ		3 mg/kg		↓	
治療開始日		治療間隔		3週毎 予定コース数 4回で終了	
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.43 m ²
eGFR	27 mL/min	eGFR/BSA	24 mL/min		

投与開始基準
・ 自己免疫疾患の合併または既往歴のある患者は慎重に投与
延期基準
・ G2の有害事象
肺臓炎：ステロイド投与
下痢・大腸炎：ステロイド投与
肝障害：ステロイド投与
甲状腺機能低下症：甲状腺ホルモンの治療
甲状腺機能亢進症：非選択的β遮断薬など対処療法
神経障害：ステロイド投与
腎障害：ステロイド投与
副腎機能障害：ステロイド投与
下垂体機能障害：ステロイド投与
I型糖尿病：インスリン補充療法考慮
肺炎：ステロイド投与
横紋筋融解症・筋炎：ステロイド考慮
重症筋無力症：抗コリンエステラーゼ検討
脳炎・髄膜炎：ステロイド考慮
心筋炎：ステロイド考慮

皮膚障害はG3で休薬
原則専門医に相談
GIに改善した場合は1か月以上かけてステロイド漸減
日和見感染に注意



インフュージョンリアクションに注意

Infusion reaction
(軽度～中等度)
悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告